

<コース概要>

A コース 健脚向け

大石橋(440m)～平岩山(1,609m)の往復ルート。大石橋から角檜小屋、大玉沢出合(540m)まではほとんどアップダウンがなく、日本屈指のブナ原生林を堪能できる。その後、大玉沢出合からは急登となり、蛇引清水(1,050m)で一息入れた後、しばらく登ると(偽)高山帯へ入り、一気に視野が広がる。目の前には雪田の残る袖朝日岳、西朝日岳、大朝日岳といった朝日連峰の主峰が連なり、振り返ると、大玉山や祝瓶山が眺望できる。天気が良ければ飯豊連峰や日本海も稜線から望める。また、平岩山周辺では色とりどりの高山植物や雪田植生も楽しめる。

B コース 中級者向け

A コース同様大石橋からのスタートとなるが、途中のスズイデ沢で分かれ、尾根上の急登となる。こちら一塔付近で樹林帯を抜け、眺望がきくようになる。A コースに比べ比較的短時間で主稜につくことができ、稜線歩きを楽しむことができる。雪渓を越え最後の坂を登ると祝瓶山頂。360度のパノラマが広がり、遙か彼方に蔵王や磐梯吾妻・飯豊連峰、そして朝日連峰の主峰を見ることができる。また、天気が良ければ、この山頂でゆっくりと時間を過ごすことができるのも本コースの魅力の一つである。

C コース 中級者向け

本年より新たに追加されたコース。これは地元のクマ獲り衆(マタギ)が実際に春グマ猟で歩くコースで、一部ヤブ道となっている。マタギたちが一本松と呼ぶ地点から先は尾根歩きとなり、所々、祝瓶山や大玉山、桧岩屋山あるいは新潟県側の山々を見ることができる。運が良ければクマを見ることができ、双眼鏡の携帯をおすすめしたい。是非、案内する地元マタギのクマ狩りやゼンマイ採りについての話しに耳を傾けて欲しい。

D コース 初級者向け

徳綱山は標高785mと比較的低いが、独立峰に近く、朝日連峰と飯豊連峰の主峰を同時に楽しめる山でもある。また、途中にブナ原生林が広がり、A コースに行かなくても朝日山地のブナ林を肌で感じることができる。ここもまた地元マタギたちのクマ狩りの猟場内であり、案内する地元マタギたちは多くのエピソードを持っているはず。遠慮せず、どんどん聞いてみよう。また、今年からは五味沢地区のワラビ園の縁を通りふれへ直接下りようコース変更をした。下山後待っているのは、もちろん……。

<注意事項>

◎移動について

集合(参加受付)場所である「りふれ」から入山地点まではメンバーが揃い次第バスでお送りいたします。万が一不都合な場合は、当日受付時にお申し付け下さい。また、A、B、Cコースに関してはバスでそれぞれ下山地点まで迎えに参ります。

◎水について

A コース：蛇引きの清水(入山後約4時間)、平岩の清水(約6時間半)

但し、後者は雪渓で埋まっている場合もあります。

B コース：スズイデの水(入山後約2時間)

C コース：一本松下の沢(入山後約1時間)

D コース：なし

◎トイレについて

A、Bコースの入下山口である大石橋には簡易トイレがありますが、それ以外の施設はありません。とくに、Aの大玉山分岐以降、Bの一塔以降、Cの一本松以降、Dの徳綱山稜線合流以降はやせ尾根となっており、また、草木も矮小化しているため用を足しにくくなります。ご留意下さい。